

## 【アメリカ】歳出予算法案の審議動向

海外立法情報課・廣瀬 淳子

\* 2010年10月1日に始まった2011会計年度は既に半年が経過しているが、未だに年度末までの歳出予算法は成立せず、暫定予算法をたびたび成立させてきた。下院の多数派である共和党は財政赤字削減を重視しており、オバマ政権や上院と対立が深まっている。

---

### 暫定予算法

2011会計年度が始まってから、これまで2011年3月18日分までの5本の暫定予算法が成立してきた。3月19日から4月8日までの3週間分の新たな暫定予算法案(H.J.Res.48)は、3月15日に賛成271、反対158で下院を、3月17日に賛成87、反対13で上院を通過し、3月18日に大統領の署名を経て成立した(P.L.112-6)。この暫定予算法は、後述する年度末までの一括予算法案が上院で否決されたことを受けて、提出されたものである。

暫定予算法では、原則として前年度と同じ予算が継続されるが、今回成立した暫定予算法では、総額で61億ドルの予算が削減された。25に及ぶプログラムに関する予算が停止や減額で35億ドル、いわゆる選挙区向けのお手盛り予算(earmark)が26億ドル削減された。

不足金返済制限法(Antideficiency Act, 31 U.S.C.1341等)の規定により、連邦政府の機関は歳出予算が切れた場合には、原則として活動を停止しなければならない(注1)。いわゆる政府窓口の閉鎖である。ただし、緊急性の高い業務などは、この例外とされている。

アメリカではこれまでもたびたび政府窓口の閉鎖を経験してきたが、今年度は、全省庁の歳出予算法案が未成立のため、新たな暫定予算法が成立しないと、政府窓口の閉鎖は全省庁に及ぶ可能性がある。

暫定予算法により当面の政府窓口閉鎖は回避できたが、短期間の暫定予算法のため、今後は予断を許さない状況が続いている。このような短期の暫定予算法では安定的な政府の活動は困難で、年度末までの予算法の成立が待ち望まれている。

### 包括予算法案

2011年2月11日に共和党主導で、9月30日までの期間の各省の歳出予算を統合した2011年度予算法案(H.R.1)が下院に提出され、2月19日に下院を賛成235、反対189で通過したが、3月9日に上院で否決された。

下院共和党は、オバマ政権の予算案から、安全保障以外の裁量的な経費で1000億ドルの削減を中間選挙の際に掲げており、既に成立した暫定予算法でも予算を削減してきた。この法案では、2010年度の予算額から総額で615億ドルを削減するものであ

た。

下院の審議の過程で、2010年の中間選挙で初当選し財政赤字削減を重視する下院共和党議員の主張を反映する多くの修正案が可決された。医療保険改革法実施のための予算の削減、環境保護庁(EPA)の予算の削減、F-35 戦闘機の代替エンジン開発の中止など非常に多くの分野で予算が大幅に削減された。

上院では民主党が多数派を占めており、予算の削減額があまりに多額で現実的ではないと反対して、法案は否決された。オバマ大統領も、大幅な予算削減は政府の基本的な機能を損ない経済成長を阻害するとして、法案には拒否権行使の可能性を示唆していた。上院では、同法案への修正案として民主党主導のより予算の削減額の少ない修正案も審議されたが、これも3月9日に否決された。

予算法案を巡る論点は国内政策から外交・軍事関係の予算に至るまで多岐にわたっている。この法案は、従来から削減の対象として議論されてきた国内政策に関する予算に加えて、対外援助などの外交や軍事関係の予算にまで削減対象を大幅に広げたことで注目された。共和党側は大幅な予算の削減による財政赤字の改善は、経済成長を促進すると主張している。

## 2012年度予算の動向

オバマ大統領は、2012年度の大統領予算教書を2011年2月14日に連邦議会に送付した(注2)。2012年度の予算の総額は3兆7300億ドルで、2011年度の予算教書と比較すると、総額で2.4%の削減となった。今後10年間で財政赤字を1兆ドル削減するとしている。アメリカ経済の競争力を高めるために、教育、イノベーション、高速公共交通建設などに重点を置いた点に特徴がある。削減の難しい社会保障費などの大幅な削減には踏み込んでいない。国防予算についてもイラクに関する予算を除きほぼ現状維持となっている。

下院共和党は財政赤字削減が不十分として、2012年度予算についても大幅な歳出削減を求めている。これまで共和党が削減に消極的であった国防予算についても、予算教書の提案からの削減を求めている。

両党の対立が非常に大きいことに加えて、2011年度予算の審議が大幅に遅れていることは、2012年度歳出予算法案の審議にも影響が出ており、さらなる遅れが懸念されている。

注(インターネット情報はすべて2011年3月22日現在である。)

(1) 詳細については、Clinton T. Brass, "Shutdown of Federal Government: Causes, Processes, and Effects," *CRS Report for Congress*, February 18, 2011.

<[http://assets.opencrs.com/rpts/RL34680\\_20110218.pdf](http://assets.opencrs.com/rpts/RL34680_20110218.pdf)>

(2) Office of Management and Budget, *Fiscal 2012 Budget of the U.S. Government*, 2011.2.

<<http://www.whitehouse.gov/sites/default/files/omb/budget/fy2012/assets/budget.pdf>>